



2027年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2026年8月7日

電気興業株式会社

証券コード：6706（東証プライム）

決算概要(2027年3月期 第1四半期)



売上高
7,483百万円

前年同期比
+1,500百万円
(+25.1%)

営業利益
▲4百万円

前年同期比
+428百万円
(－)

第1四半期決算コメント

■ 増収要因

- 電気通信部門全般において需要が堅調に推移、高周波部門においても自動車関連業界の設備投資需要回復を受け前年同期比増収

■ 増益要因

- 電気通信、高周波部門の増収効果および収益向上施策により、前年同期比+428百万円
- 原材料費の高騰や物流コストの上昇などの影響は前期より継続

■ 収益改善取り組み

- 収益性を重視した受注活動と、生成AIやDX化の推進による業務効率化を継続して実施

業績予想 (2027年3月期)

売上高 36,500百万円

営業利益 1,650百万円

■ 通期見通し

- 期初時点の予想に対し順調に進捗し、変動は無し
- 電気通信部門は、移動通信、放送が堅調に推移し、増収見通し
- 高周波部門は、自動車関連業界の設備投資需要回復を受けて増収増益の見通し



1 2027年3月期 第1四半期 連結業績

2 2027年3月期 連結業績見通し

Appendix

1. 2027年3月期 第1四半期 連結業績

1-1.第1四半期 連結業績ハイライト



- 売上高は前年同期比25.1%の増収。各種利益も前年同期比増益を達成
- 当期純利益については、2024年3月期に実施した固定資産譲渡の明渡しによる特別利益の計上により大幅に増益

(百万円)	26/3 1Q実績	27/3 1Q実績	増減額	前年同期比
売上高	5,983	7,483	1,500	25.1%
売上総利益	1,144	1,485	340	29.8%
営業利益	-433	-4	428	-
経常利益	-411	230	641	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-212	1,307	1,519	-

1-2.売上高・営業利益



- 電気通信部門は、移動通信の5G向けアンテナおよび無線装置需要が堅調に推移し増収増益
- 高周波部門は、誘導加熱装置において自動車関連業界の一部顧客の設備投資需要が回復したことにより増収増益

(百万円)	26/3 1Q実績	27/3 1Q実績	増減額	前年同期比
売上高	5,983	7,483	1,500	25.1%
電気通信	3,691	4,835	1,143	31.0%
高周波	2,261	2,619	357	15.8%
営業利益	-433	-4	428	-
営業利益率	-7.2%	-0.1%	-	-
電気通信	67	322	255	378.4%
高周波	240	353	112	46.6%

※電気通信・高周波関連事業の営業利益はセグメント利益を記載しております。

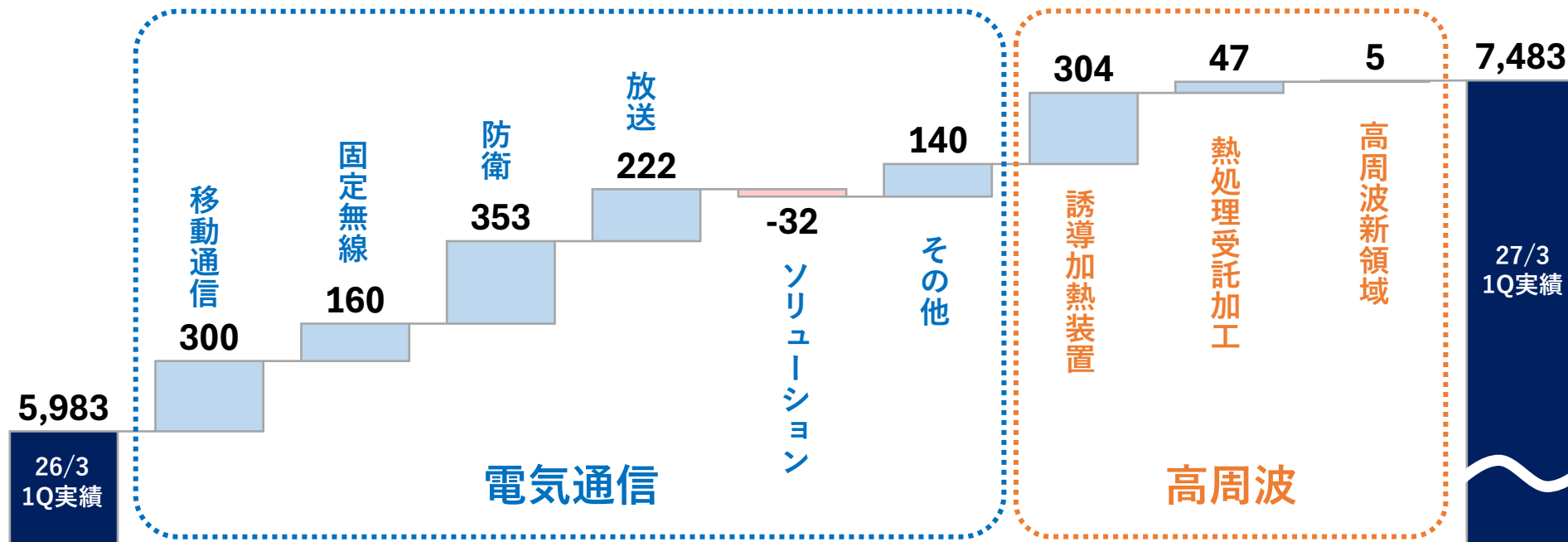
1-3.各セグメント業績



(百万円)	26/3期 1Q実績		27/3期 1Q実績		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	5,983	100.0%	7,483	100.0%	1,500	25.1%
電気通信	3,691	61.7%	4,835	64.6%	1,143	31.0%
移動通信	1,150	19.2%	1,450	19.4%	300	26.1%
固定無線	287	4.8%	448	6.0%	160	55.8%
防衛	611	10.2%	964	12.9%	353	57.8%
放送	449	7.5%	671	9.0%	222	49.5%
ソリューション	68	1.1%	35	0.5%	-32	-48.2%
その他	1,124	18.8%	1,264	16.9%	140	12.5%
高周波	2,261	37.8%	2,619	35.0%	357	15.8%
誘導加熱装置	1,494	25.0%	1,799	24.0%	304	20.4%
熱処理受託加工	766	12.8%	814	10.9%	47	6.2%
高周波新領域	0	0.0%	6	0.1%	5	-

1-4.売上高増減

単位：百万円



移動通信（+300百万円）

5G向けのアンテナおよび無線装置の需要が継続。鉄塔やメンテナンス需要も確実に獲得。

防衛（+353百万円）

防衛装備品需要は堅調に推移する一方、中東情勢の影響により納期調整が発生。足元では改善傾向。

放送（+222百万円）

デジタル放送設備のメンテナンス需要に加えて、更新需要も発生。

誘導加熱装置（+304百万円）

一部顧客において、設備投資需要は回復。自動車業界以外の需要も獲得し、前年同期比増収。

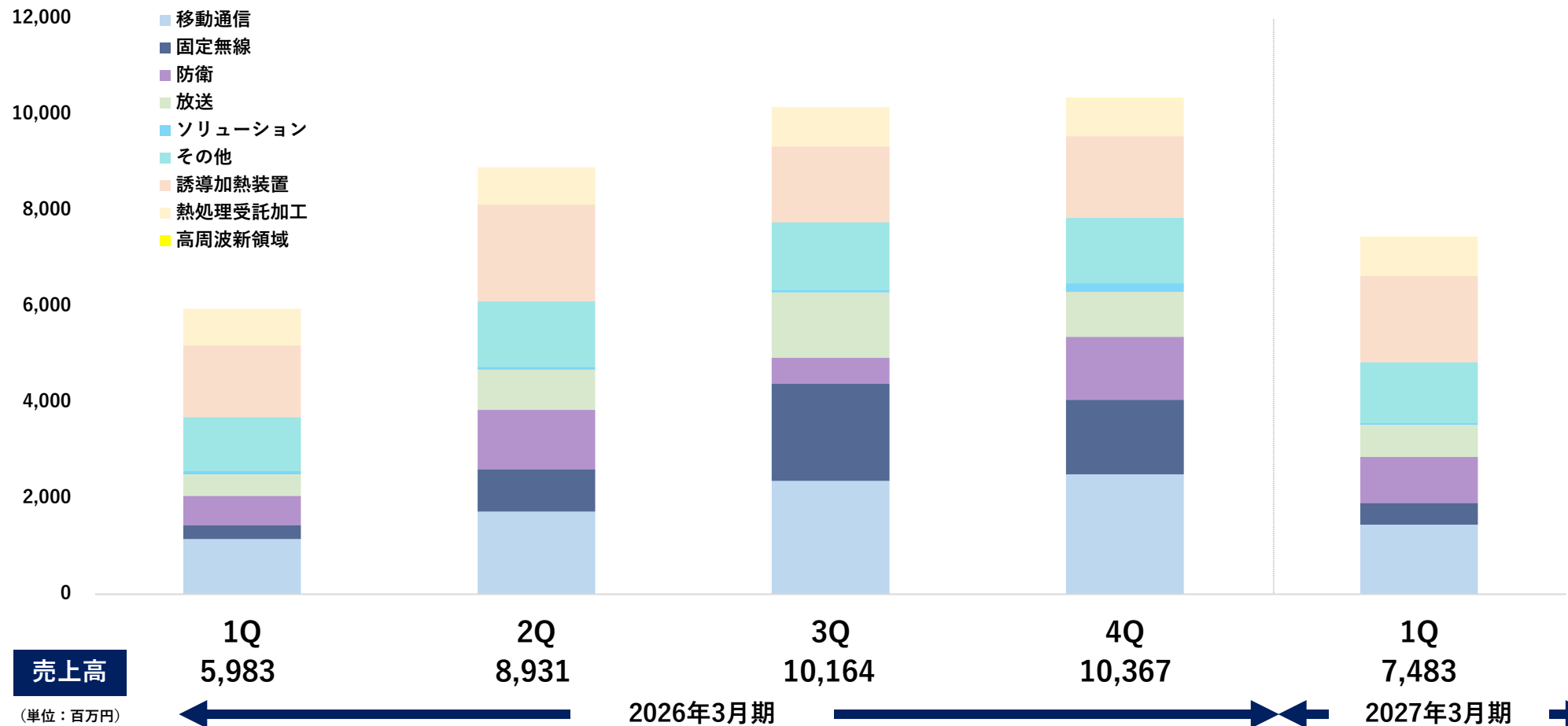
熱処理受託加工（+47百万円）

自動車生産活動は横ばいで推移。国内外の需要を着実に獲得。

1-5.四半期売上高推移

- 第1四半期においては、前年同期を上回る水準
- 電気通信部門は、各セグメントにおける納品案件が順調に推移し、全般的に増収
- 高周波部門は、前年同期に抑制されていた設備投資需要が回復し、売上高の増加に寄与

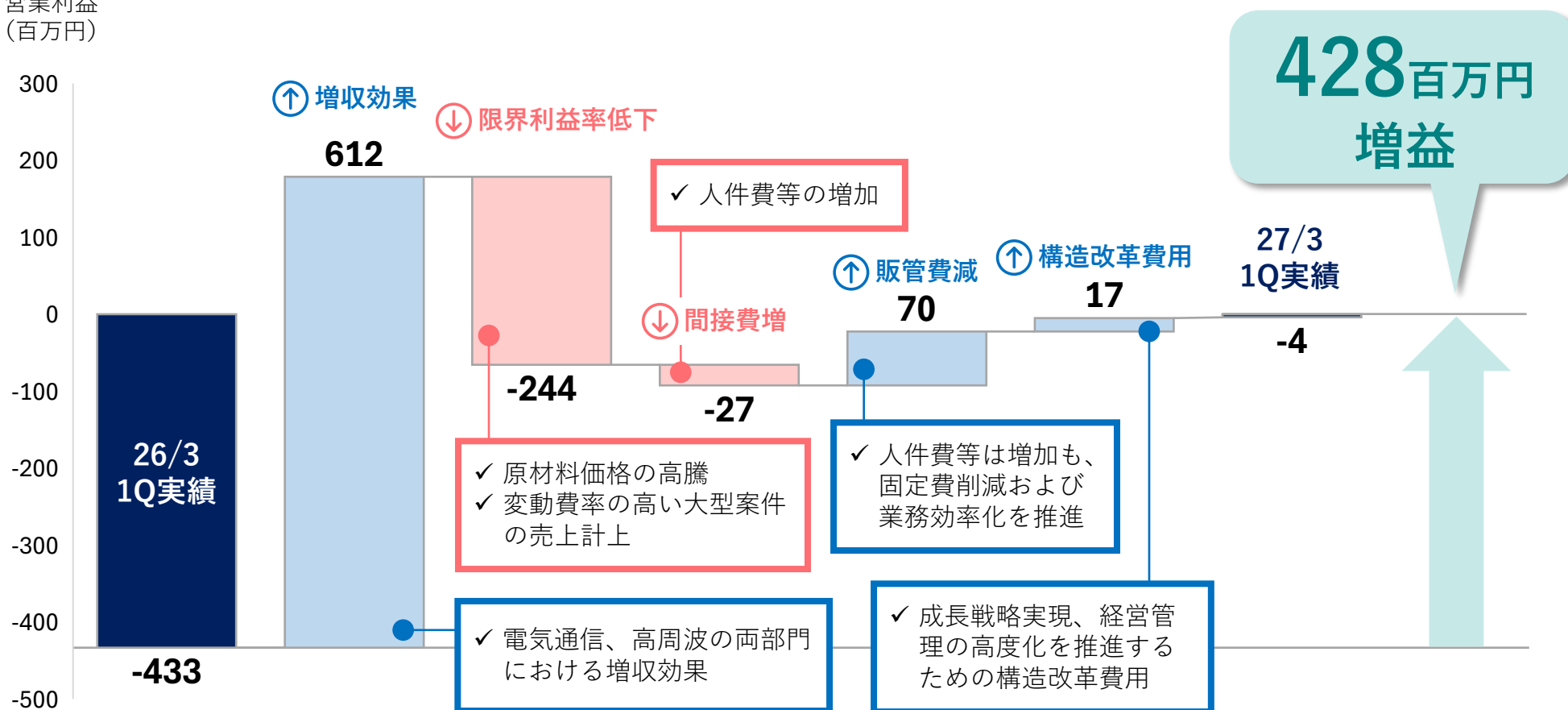
(単位：百万円)



1-6.営業利益増減要因

- 電気通信部門および高周波部門の増収効果により増益
- 限界利益率の低下を増収効果と固定費削減施策が吸収し、前年同期比428百万円の増益

営業利益
(百万円)



2. 2027年3月期 連結業績見通し

2-1.連結業績見通し

- ・ 期初開示の通期予想を据え置き
- ・ 電気通信部門の堅調な推移、高周波部門の設備投資需要の回復により増収増益見通し

(百万円)	25/3	26/3	27/3	前期比	
	通期実績	通期実績	通期予想	増減額	増減率
売上高	32,582	35,446	36,500	1,053	3.0%
電気通信	22,067	25,387	25,600	212	0.8%
高周波	10,411	9,952	10,800	847	8.5%
営業利益	935	1,219	1,650	430	35.3%
営業利益率	2.9%	3.4%	4.5%	-	-
電気通信	1,917	2,377	2,800	423	17.8%
営業利益率	8.7%	9.4%	10.9%	-	-
高周波	1,743	1,596	1,700	104	6.5%
営業利益率	16.7%	16.0%	15.7%	-	-
経常利益	1,024	1,216	1,650	433	35.6%
経常利益率	3.1%	3.4%	4.5%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	777	1,903	2,300	396	20.8%
ROE (%)	2.1%	5.2%	6.1%	-	-

※電気通信・高周波関連事業の営業利益はセグメント利益を記載しております。

※その他セグメントの売上高は省略しております。

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

2-2.各セグメント見通し

(百万円)	25/3 通期実績	26/3 通期実績	27/3 通期予想	前期比	
				増減額	増減率
売上高	32,582	35,446	36,500	1,053	3.0%
電気通信	22,067	25,387	25,600	212	0.8%
移動通信	5,971	7,734	8,200	465	6.0%
固定無線	4,358	4,744	4,000	-744	-15.7%
防衛	2,818	3,703	3,800	96	2.6%
放送	3,270	3,589	4,000	410	11.4%
ソリューション	482	357	600	242	68.0%
その他	5,165	5,257	5,000	-257	-4.9%
高周波	10,411	9,952	10,800	847	8.5%
誘導加熱装置	7,336	6,800	7,700	899	13.2%
熱処理受託加工	3,065	3,146	3,000	-146	-4.7%
高周波新領域	9	6	100	93	-

2-3.受注状況

- 電気通信部門は順調に受注を積み重ね、受注残高は堅調に推移
- 高周波部門は誘導加熱装置において、前期下期からの一部顧客の設備投資需要の回復を受け、受注残高が増加

	26/3通期 受注残高 (百万円) ①	27/3期1Q		増減額 ④-①	(参考) 26/3期1Q	
		受注高 ②	売上高 ③		受注高	受注残高
電気通信	17,257	8,458	4,835	20,880 ④ = ① + ② - ③	3,623	6,154 17,015
高周波	3,926	2,930	2,619	4,237	310	2,370 3,206
合計	21,183	11,388	7,483	25,117	3,934	8,525 20,222

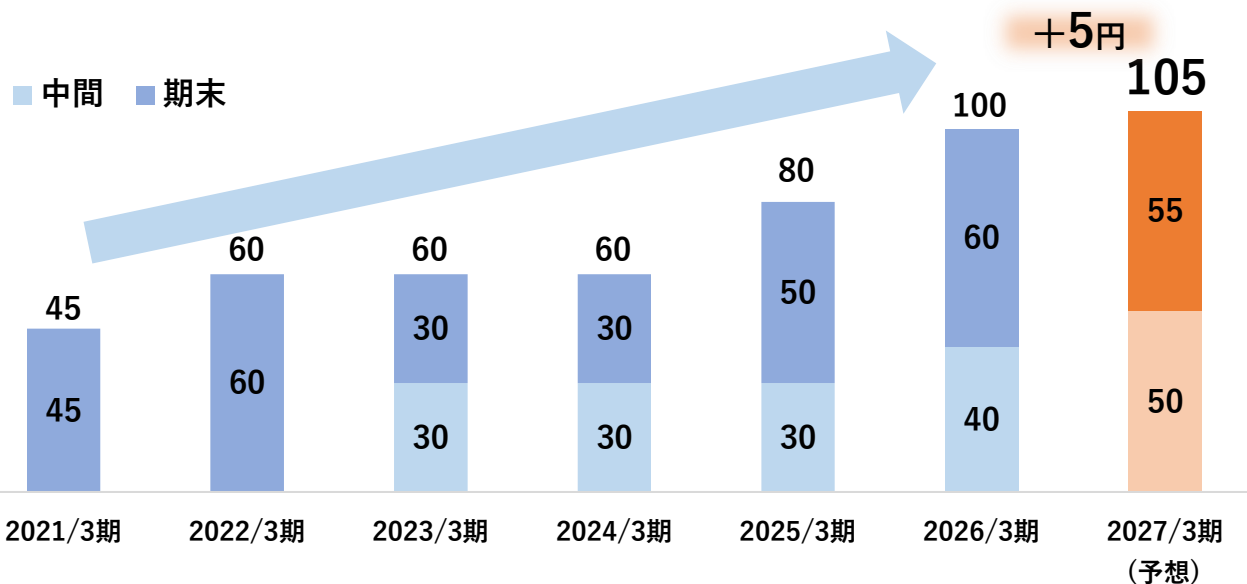
※27/3期1Qの売上高合計には、設備貸付事業・売電事業の売上高（28百万円）を含めております。

2-4.株主還元

● 配当方針

- 連結配当性向 **40%**、下限値の目途としてDOE **2.5%**を設定
(2026年2月に、DOE（連結株主資本配当率）下限値の目途を**2.0%**から**2.5%**に引き上げ)
- 2027/3期の年間配当予想は、**5円増配の105円**

<一株当たり配当金推移> (単位：円)



安定的に株主の皆様への
還元を継続

- DKK-Plan2028において、成長のための事業投資と株主還元を中心とした資本戦略を策定
- 自己株式の取得については、引き続き機動的に実施

2-5.株主優待導入



当社株式への投資の魅力をさらに高め、より多くの株主の皆様に長期間、当社株式を保有していただく事を目的として導入。

■ 目的

配当と合わせた総合力回りの
上昇による投資魅力の向上

■ 対象

毎年3月31日時点で
100株（1単位）以上保有の
株主様

■ 開始時期

2027年3月31日時点の
株主様から開始

● 株主優待の内容

当社オリジナルカタログの中からお好みの商品をお選びいただき、贈呈いたします。

保有株式数	継続保有期間 3年未満	継続保有期間 3年以上 [※]
100株～299株	2,000円相当	3,000円相当
300株～499株	4,000円相当	5,000円相当
500株以上	6,000円相当	7,000円相当

優待品は、当社拠点ゆかりの
特産品等、カタログギフトを予定

※継続保有期間3年以上の考え方
同一株主番号で100株以上を
4回以上連続して記載または記録。

Appendix

ご参考：開示情報（リリース）



新製品・新サービス

- 2026/4/1 [栃木県那須町に「AI電話対応」を導入](#)
- 2026/4/27 [福島市向け「AI人流・交通分析システム」を導入し運用開始](#)
- 2026/5/12 [スポット式脱臭装置「RapidDeodorizer-X™」のラインナップ拡充のお知らせ](#)
- 2026/5/12 [循環型ボイラーレス小型過熱水蒸気装置を開発](#)
- 2026/5/13 [サーマルカメラ／監視カメラ ジンバル搭載モデル「DK-TBX-15」新発売](#)
- 2026/5/19 [機械全高と動作時間の大幅削減を実現する縦型熱処理設備を開発](#)
- 2026/5/29 [AIを活用した道路管理支援サービス「道路巡回ソリューション」の販売を開始](#)
- 2026/6/29 [乗り換え利便性向上に向けたホーム間流動調査をJR北上駅で実施開始](#)

その他

- 2026/4/1 [月刊「食品機械装置」2026年4月号に当社技術記事が掲載されました](#)
(超高温過熱水蒸気を活用した粉体殺菌技術の特長と可能性を紹介)
- 2026/4/28 [「自治体・公共Week2026」出展のご案内](#)
- 2026/5/20 [「FOOMA JAPAN 2026」出展のご案内](#)
- 2026/6/3 [月刊「食品機械装置」2026年6月号に当社技術記事が掲載されました](#)
(高周波誘導加熱×触媒分解による超高速脱臭装置と、食品製造現場における臭気対策を紹介)
- 2026/6/3 [ワイヤレスジャパン×ワイヤレス・テクノロジー・パーク 2026における当社関連技術の展示・登壇のご報告](#)
- 2026/6/25 [NTT青森八戸ビル鉄塔修復工事で感謝状を受領](#)

業績予想に関する注意事項



- 本資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、予想値と異なってくる可能性があります。
- かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更等が含まれます。

電気興業株式会社

お問い合わせ先

経営企画部 経営企画課

TEL 03-3520-8304

E-mail ir@denkikogyo.co.jp